



2017 TPKF大会 (8月10日~12日)

私の救いの体験

綾部キリスト福音教会 牧師 朝子孝一



高校二年の春だったと思いますが、縁側でラジオを聴いていましたら、突然キリスト教の放送が流れてきました。こんな話は初めてです。キリスト

でない私にとってあまりにも面白くなく、人生に絶望するような毎日でした。いつそのこと死んでしまいたいと思いましたが、ここで死んだら地獄に行ってしまうと思いとどまりました。

教も悪くはないだろうと、軽い気持ちで教会にはがきを出したら、小さな聖書やパンフレットを送って来ました。なんだかありがたい気持ちになって、早速読んでみました。何のこともかさっぱりわかりませんでした。パンフレットに書いてあったヨハネ3・16の言葉に驚きました。神、愛、滅びる、御子、永遠の命…など日本語ですがどれも初めて聞く言葉です。私はパンフレットの勧めに従って、自分ひとりで、イエス様を信じお祈りしました。

そんなある日曜日、友人と隣の公園でスケッチをしていましたら、五十歳ぐらいのおばあさんが近づいてきて、「重荷を負う者われに來たれ」というパンフレットを渡してくださいました。その晩、おばあさんの伝道所に行つて放蕩息子の話を聞きました。(この方は札幌榮子伝道師のお母さんです) それから二カ月ほどして、綾部にフィンランド人の宣教師(アウティオ宣教師)が來られるということで、そちらに行くことになりました。

高校卒業後、絵を描く勉強のためにと京都の染物店に就職しました(その頃、将来は絵の道でメシを食つて行こうと決めていました)。店のすぐ近くに教会がありましたので、夜の伝道集会に行きました。そこで、イエス様を信じる告白をして、鴨川で洗礼を受けました。

ある夜の伝道集会で、ラウリ・ヘイモネン師がメッセージを語られて、「平安の欲しい人は前に来てください」と招かれたので、私は素直に前に出ました。それで祈つてもらったら、涙がこぼれて仕方がありません。イエス様の愛が深く私の心に注がれたのを今も思い出します。それからもう、うれしくて、うれしくて、毎日のように宣教師の後にくっついて話を聞いたり、一緒に伝道したりしました。現在(76歳)に至っています。

しかし、しばらくして仕事嫌になり郷里に帰ってきました。地元で日東精工というネジとカメラを製造する会社に就職しました。そこでの生活は、人づきあいが上手

でない私にとつてあまりにも面白くなく、人生に絶望するような毎日でした。いつそのこと死んでしまいたいと思いましたが、ここで死んだら地獄に行ってしまうと思いとどまりました。

「刈り入れは近づいた！」

第54回 T P K F 大会 メッセージ概要

杉山睦生

第54回 T P K F 大会では、主講師のミカ・ユリヨラ師が、ヨハネ 4：35 の御言葉から「刈り入れは近づいた！」というテーマでメッセージをしてくださいました。以下、ユリヨラ師の4回のメッセージを要約させていただきました。

オープニング聖会においては、ヨハネ 4：35 が読まれて、ミカ・ユリヨラ師の祖父であるトイミ・ユリヨラ師が若くして中国に宣教師として導かれた時の話をされました。中国に行く途中で日本を経由して行かれ、その時、神戸で伝道をされました。トイミ・ユリヨラ師はフィンランドから来られて日本で最初に伝道された宣教師でもありました。ヨハネ 4：35 には「あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある。』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」と書かれています。「皆さんは、今、何を見えていますか。信仰の目を上げて、収穫の畑を見てください。」と力強く語られました。



ミカ・ユリヨラ師（写真左）と通訳のレフトサーリ神之助師

聖会 2においては、詩篇 8：1～9 を読まれてメッセージをしてくださいました。この箇所には神様の偉大さについて書かれています。神様は全知全能のお方ですから、厳密にいうならば神様は誰をも必要としておられません。この天地に満ちるものは全て神様のものです。しかし、もう一つの大切なことがあります。それは、神様は人々を救うためにあなたを必要とすることを決められたということです。神様はあなたの信仰を通して働かれます。あなたも神様と協力して働く人になってくださいと語ってくださいました。

聖会 4においては、使徒 3：1～10 の生まれつき足のきかない男の人が癒された箇所からメッセージをしてくださ



通訳の吉田啓示師

いました。クリスチャンはペテロとヨハネのように金銀は持っていないなくても、みんなが持っているものがあります。それは、この世が持っていないものであり、この世が必要としているものです。それはイエスの御名です。イエスの御名には驚くべき力があります。イエスの御名によって、生まれつき足のきかなかった男の人は、おどりが上って歩き出しました。ペテロとヨハネは聖霊の御声を聞いて、施しを求めていた人に関心を示しました。私たちは、今まで関心を持たなかったものにも関心を示していきましょう。私たちは、もっと大胆にイエスの御名を宣言していく必要があります。皆さんの中に自分の教会の現状を見て、落胆しあきらめている人がいるかもしれません。決して現状に慣れてしまったり、あきらめたりしないでください。イエスの御名によって、神の与えてくださる夢と幻に向かって歩き出してくださいと語られました。

聖会 5では、創世記 16：7～14 から、エル・ロイと呼ばれる神様についてメッセージをしてくださいました。エル・ロイとは「ご覧になる神」という意味です。神様は私たちのすべてを知った上で私たちを誰よりも愛してくださっています。私たちは自分のことを誰も分かってくれないと思う時があるかもしれません。しかし、神様だけは私たちのことを理解してくださっているのです。ミカ・ユリヨラ師はご自分が体験されたエベネゼルという伝道船の話もされました。ユリヨラ師は生まれて、まもなくして宣教師である両親によってエベネゼルという伝道船に乗って生活することになりました。この船がユリヨラ師の家となり、12年間、この船の上で生活しました。ところが、ある日、この船がジャワ海で嵐に遭い沈没してしまったのです。その時、ユリヨラ師は助かったのですが、神様を疑うようになりました。しかし、救命ボートの上で聖書を開いた時に詩篇 34 篇が目飛び込んできて、すべてのことを知っていてくださる神様がおられることを知って、悔い改めに導かれ、信仰が新たにされたという励ましのメッセージを語ってくださいました。

TPKF大会 キッズ集会の報告



一日目と二日目に
行われたキッズ集会
には、2歳～12歳
までの子どもたちが
集まりました。テー
マは、「種まきから
収穫を通して伝道に

ついて考える」でした。振り付けのある楽しい賛美から始まり、メッセージ、ゲーム、特別賛美の練習、クラフトと盛りだくさんなプログラムでした。

一日目のクラフトでは、畑仕事に必要な道具（鎌や鍬、スコップなど）を作りました。二日目のクラフトでは、友達や家族にプレゼントできるうちわ作りをしました。

特別賛美は、大会三日目に発表しましたが、自分たちで作った道具を手に持って、タオルを首に巻き、畑仕事に出かける、をテーマに「収穫の時」を賛美しました。

そして、収穫の喜びを表現したダンスも発表しました。とても楽しく祝福されたキッズ集会となりましたことを、主に感謝します。
(レフトサーリ麻衣)

TPKF大会 ジュニアクラスの報告



中学生対象のジュ
ニアクラスは大会一
日目と二日目に行わ
れました。

一日目は、パワー
ポイントゲームやジ
ェスチャーゲームを

してから、「光は闇に勝つ」や「いの歌」(イッピーの賛美)を歌った後、ニコデモの箇所から、新しいいのちを受け神様の子どもになるには罪を悔い改めイエス様を救い主として信じ受け入れなければならないことを確認しました。

二日目は、謎解きゲームをした後、ペテロの召命の箇所を通して、イエス様は人を取る漁師として私たちを招いておられることを学びました。

参加者4名と奉仕者3名の小さな集まりでしたが、イエス様がその中心におられて、一人一人の心に触れておられるのを強く感じました。ゲームを担当して下さった奥村圭貴兄、女の子のフォローをして下さった山崎琴葉姉に心から感謝します。
(西川牧雄)

TPKF大会 ユースプログラムの報告

今回のTPKF大会ユースプログラムの企画と運営を若枝ユースミニストリーのリーダーたちでさせていただきました。集会では「イエス様を伝えてる？」というテーマで西川牧雄先生から熱いメッセージを受け取りました。集会の途中で、会場の研修室が使えなくなり、どうするかをリーダーたちで話をしていたのですが、その時にも主は働いてくださいました。ある先生が和室が使えることを教えてください、子供たちが寝ている隣のスペースを譲っていただくことができました。そこでさらに、ユースの分かち合いの時間を深めることができました。予想外の出来事にも主が解決を与えてくださったので、無事にプログラムを終える事ができました。まことに主は素晴らしい方だと再認識したTPKF大会でした。

(中井治希)



TPKF大会 ファミリー集会の報告

TPKF大会二日目のファミリー集会に参加し、受けた恵み、感想を分かち合わせていただきます。

守山キリスト福音教会を会場として、上田勇矢先生が企画立案して下さった内容は、昼食を共にし、その後、大人は焙煎コーヒーとスイーツで交流。子供達は暑い夏にぴったりのプール遊びと映画鑑賞でした。

教会の2階にあるラウンジには、たくさんのファミリー参加者でいっぱいでした。

そして、神学生時代に共に学んだ懐かしい同級生や先輩方とお互いの近況を分かち合いました。育児、夫婦などの家庭の話や教会の様子、課題や必要について話に花が咲きました。それぞれが遣わされた地でそれぞれが祈り、奮闘していることを知ることは本当に励ましになります。また、多くの元気な子供達の存在は神様がクリスチャンホームの形成に大きな祝福を与えて下さっている証であり、次世代への期待が高まりました。

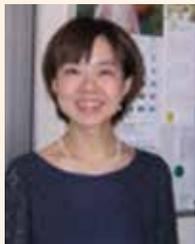
(吉田和佳子)



あかし

単ペン大会に参加して

鶴見純福音教会 金子智恵



単ペン大会に参加させていただき、恵み、励ましと確信をいただきました。私は今年の春にKBIを卒業し、また、来年2月に結婚するため、単ペンから離れることが決まり、これからの召しに対して期待も不安も抱いている時期でした。

大会の期間中、先生方、兄弟姉妹との交わりにおいて、近況を報告し合う中で語った問題に、講師のミカ・ユリヨラ師のメッセージを通して、主が明確に答えを与えてくださいました。あまりに合致しているの、隣席の姉妹とメッセージ中に顔を見合わすほどでした。また、主の豊かなご臨在に満ちており、祈りの中で召しの確信と御霊の力を与えられました。今日、主が生きておられ、興味をもってひとりひとりを、単ペンのグループを、日本を、世界を「見ておられる神・エルロイ」であることを受け取りました。そして、大会のテーマである「刈り入れは近づいた!」というみことばに、心からアーメンと言いました。

召しに応答しようとする時、自分自身を見ると何もなく頼りないのですが、2日目の集会で語られた「金銀は私にはないけれど、イエス・キリストの御名がある」という事実立ち、イエスの御名に信頼し、前進していきたいです。ハレルヤ!

ガジマ師の癒しの聖会あかし

武生自由キリスト教会 上田晴美

私は5年前に子宮体癌になりました。自覚症状があり、近くの病院に行きましたが、誤診され、1年間放置した為、ステージⅢになってしまいました。闘病中は壮絶な2年間でした。痛みと3回の手術と放射線治療、経口抗がん剤は拒否し経過観察となりました。しかし、今年の7月7日の検査で腫瘍マーカーが2つ基準値を超えてしまい、再発しているかもしれないと、医者から全身の検査をする必要があると言われました。すぐに7月14日に検査の予約をしました。

そんな時に、友人の紹介で武生自由キリスト教会を紹介され、教会から7月12日にタンザニアからガジマ先生の癒しの聖会があることを知り、参加させていただきました。ガジマ牧師の力強い聖書の言葉といやしのメッセージをいただき、私はイエス様に祈りました。

その後日病院に行き、検査をしていただきました。私にはまったく恐れがありませんでした。そして検査の結果は私の体の中にまったく癌はありませんでした。私の主治医はとても驚かれています。奇跡としか言いようがないのです。私はイエス様とガジマ聖会に参加できたことを心から感謝しています。私はイエス・キリストを信じ、そして8月6日に武生自由キリスト教会牧師 鈴木新一師の司式により洗礼を受けました。

■北陸地区「特別聖会」癒しの聖会

<FCMF>



ガジマ師

7月12日(水)、ジョセファット・ガジマ師(タンザニアキリスト栄光教会主任牧師)と副牧師のフレデリック師、通訳のローゼンクランツ・直美師をお迎えし、癒しの聖会が持たれました。午後も夜も100名を超える方々が福井自由キリスト教会に集われました。ガジマ師より、午後は多くの方々の癒し、よみがえりのみわざが分かち合われ、夜はイエス・キリストの御名と権威について語られました。「行って、「天の御国が近づいた」と宣べ伝えなさい。病人をいやし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊を追い出さなさい。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。マタイ10章7-8節」その後、一人一人に手をおいて祈り、聖霊のバプテスマ、癌の癒し、悪霊からの解放のみわざがなされました。感謝と栄光を主にささげます。続けて北陸で、日本の至る所で福音が語られ、主の良きみわざがなされていきますように!





宣教地からの便り

パキスタン宣教師
太田ともえ

「女性は、けがれている」

という固定観念がパキスタンには根強くあります。

聖書には、男女の違いや、それぞれに応じた役割分担についての記述はありますが、神さまからの祝福を受けることについて、男女の違いはありません。“夫たちよ。妻が女性であって、自分よりも弱い器だということをわきまえて妻とともに生活し、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。”（第一ペテロ 3：7）

パキスタンには、男児が産まれると「おめでとう」、女児が産まれると「残念でした」という風潮が残っています。読み書きができない人の多数は女性です。成長した女性は自由に散歩することが良いこととはみなされていません。さらに、クリスチャンの中にも誤った常識がけっこうあり、「生理中は聖書に触ってはいけない、お祈りしてはいけない、礼拝に出席してはいけない。」と思い込んでいる人がまだまだ多い状態です。その結果「男

性は優れている、女性は劣っている」と思い込んでいる人が多いのです。

私たち FGA Women Ministry Team は、その中であえて、「妊娠・生理のメカニズムと神様から与えられた女性の役割」といったテーマのセミナーを、様々な教会の婦人会で開催しています。このようなことを公共の場で語ることは一般的にタブーとされています。しかし、このセミナーをいったん始めて見ると、みんな興味津々で耳を傾け、今だ！とばかりに質問が出るわ出るわ…。どこへ行ってもとても好評なセミナーとなりました。

このセミナーの中心メッセージは、「女性も神様の目に高価で尊い。」女性は、けがれた二流の存在では決してありません。上記第一ペテロ 3：7 に「弱い器」という表現がありますが、ウルドゥ語聖書では、「こわれやすい器」。いつもセミナーの時には、きれいなガラスの器を持っていきます。「この器をどんな目的で、だれのために使いますか？どのように扱いますか？」…大切な人を心からもてなすために慎重に扱われるその器を見ながら、少しずつ、神さまが見ておられる私たちの大切さ、愛おしさが理解できますようにと願っています。

九州北部豪雨災害支援

・・・ T P K F は九州北部豪雨災害支援のため、九州キリスト災害支援センターに 30 万円の緊急支援をさせて頂きました。そのお礼の手紙を紹介いたします。・・・

ハレルヤ。主のみ名をほめたたえます。

いつも九州キリスト災害支援センター（九キ災）の働きのためにお祈り下さり、また、愛の支援献金を賜りまして、心から感謝申し上げます。

この度、九州北部を中心に発生しました豪雨による災害につきまして、九キ災では初動段階から他支援団体と協力しながら情報収集に注力し、行政や他支援団体と連携を図りながら、支援に携わっています。現在、被害の大きかった大分県日田市に新たな活動拠点（日田ベース）を設け、流木や土砂の撤去などを中心とした支援活動を行っています。

また、並行して熊本地震の復興支援も継続して活動しております。熊本地震から 1 年が過ぎ、熊本市内の行政のボランティア受付はすでに終了していることもあり、当センターへの問い合わせや、様々な作業依頼は急増しています。仮設住宅の自治会支援も継続しており、熊本ベースでは今後もできる限り被災地の方々の様々なニーズの応え、活動していきたいと思っています。

また、今後起こりうる災害に備えて、九州各県での防災ネットワークづくりの推進や防災セミナー等も開催していく予

定です。引き続き、覚えてお祈り下さい。

この度お捧げ下さったお一人お一人の上に、主の恵みが豊かにありますようにお祈りし、感謝と御礼のお便りとさせていただきます。

2017 年 8 月

九州キリスト災害支援センター

代表 横田法路

スタッフ一同

《祈りの課題》

- * 熊本県全域、福岡県朝倉市杷木（はき）・東峰村、大分県日田市で活動するボランティアの安全と健康が守られるように。
- * 日田ベースの働きのために。
- * 熊本ベースのために。
- * 九キ災の N P O 法人化への過程のために。



須磨自由キリスト教会 所在地：兵庫県神戸市須磨区禅昌寺町 1-4-20

須磨自由キリスト教会はノルウェーの宣教師によって建てられ、今年 8 月で創立 61 年を迎えました。最近では近所の子どもたちが日曜日に来るようになりとてもにぎやかな教会になっています。また日曜日の礼拝をはじめ木曜日の祈り会にも多くの方が集まる教会へとなっています。

60 数年前、神様がノルウェーの宣教師をとおして建てられた教会が、今も賛美とお祈りをささげる教会になっています。是非一度、神戸に来た際には遊びにいらしてください。お待ちしております。



米原キリスト福音教会

場所：滋賀県米原市米原 234

米原キリスト福音教会は、滋賀県の長浜市と彦根市の中間にある米原市にあります。そこに教会がないとわかって、開拓することになりました。保育園、学童保育（小学校）、中学校、高校と校長先生に許可をもらって、ミニ集会をさせてもらい、判りやすい福音ブック（マンガもあり）を大勢の子どもや中高生にわたすことができました。集会は日曜礼拝、伝道会、子ども会などです。冬は雪が早く降ったりするので、12月初旬にクリスマス会をします。写真は保育所での「おはなしとあそび」の集まりの記念写真です。（中村治子牧師記）

第55回 T P K F 大会のご案内

日 程：2018年5月2日～4日

テーマ：「主の励ましと宣教」

講 師：寺田文雄先生

南紀リバーサイドチャーチ主任牧師
アッセンブリーオブゴット教団理事長
(伝道と牧会において教会形成を展開されている。)



場 所：福井県民ホール アオッサ 8F 大ホール (500名収容)
登録費：3000円 (初日 & 3日目 1000円、2日目 2000円)、
高校生以下は無料。

宿 泊：各自で。ユース (小6～25才) 男子は福井自由、女子はブンキョーに宿泊予定。寝袋持参 1泊 1000円。

T P K F 大会の事務局：福井自由キリスト教会 牧師 山本義武
〒918-8106 福井県福井市木田町 2617

TEL：0776-36-6762 FAX：0776-36-9618

Email：ffcc@orange.plala.or.jp

LIVE ゲスト：EYS 関西で活躍中

書籍紹介 「いと高き方のもとに」 366日の瞑想



オズワルド・チェンバース 著

本書は日々のディボーションガイドである。各頁に聖書の御言葉と著者のメッセージが掲載されている。

著者は一貫して神との正しい関係を保つことについて語っている。その鍵は、私たちが自我に死に、キリストのいのちに生きることであり、御霊に服従することである。すなわち、生まれながらの性質

では神の御心を行い得ないことを認め、キリストの愛に駆り立てられ、内なる御霊の働きに身を委ねて、神と人ともに仕えるということである。

その歩みはまさに神の恵みによるが、一朝一夕で得られるものではない。一日一日の積み重ねによって身に付いていくものである。だから、決して慌てることなく、「今日の御言葉」をじっくりと味わおう。目まぐるしく変化する状況や物事ではなく、すべてを治めておられるいと高き方に心を向けよう。この方は私たちに親しく語りかけ、最善の道へと導かれる。

(水口キリスト福音教会 西川牧雄)

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会 / 富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会 / 武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル / 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべての T P K F の信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com T P K F の公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

